

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぱぷりかランド（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	2026年 3月 9日 ～ 2026年 3月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数)	33
○従業者評価実施期間	2026年 3月 9日 ～ 2026年 3月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 5月 2日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	『相互理解』 保護者様に送迎のご協力をいただき、毎回対面で挨拶、情報共有をする事が出来、相互理解に繋がっている。	職員全員が心身の健康を整え笑顔で支援にあたるよう努力しています。直接お会いする事でお子様や保護者様の小さな変化にも気付き、支援に繋げる機会となっています。	送迎のご協力によりぱぷりかランドとご家庭の両輪でお客様の成長を加速させる事が出来ています。感謝の気持ちを言葉でお伝えしていきます。
2	『チームワーク』 明るく前向きな専門性のある職員が互いを尊重し合い、最高のチームワークで支援を実施出来ている。	活動前後のミーティングを必ず行い一人一人の職員の役割、担当を明確にしています。活動の内容により専門性のある職員がリーダーとなりお子様はもちろんの事職員も日々成長しています。	ぱぷりかランドの教育理念、私達の強みを常に意識してより良い環境作りに努めます。
3	『多角的なプログラム』 支援プログラムに沿った多角的なオリジナル活動プログラムの立案、実施が出来ている。	お子様の成長を全ての判断基準としています。音楽療育を基盤に季節、社会情勢を織り交ぜたプログラムを立案しています。	お子様の出口は就労と捉えて私達職員が輝く姿を見せる事により人間力、社会性、他者貢献などを高めていけるよう支援していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	『第三者評価の機会』 外部評価を受ける事により、より客観性の高い支援、サービスの向上を目指す。	毎月の社長研修及び外部研修の機会、内容をサービスに活かす事ができていると考えています。	県が指定する専門機関の調査、評価の機会を検討し、更なる質の高い支援を目指していきたいと考えます。
2	『環境設定』 お子様の成長や体格に合った環境設定が出来るよう設備の確認を行う。	活動に応じて使用する机や椅子を設定しています。今後、お子様の成長を見据えて体格や耐久性も意識した環境が用意出来るよう検討します。	教室の空間を有効活用及び成長を見据えた環境設定に努めます。
3	『デジタル化の導入』 通信や振り返りシートなど書面でご確認いただいているが、ご要望があればデジタル技術を導入する事も検討する。	手書きの連絡帳や振り返りシートは担当者の思いを丁寧に保護者様の心にお伝えする事を大切な目的と考えています。	保護者様に丁寧にお伝えする事を最優先に考え、ご要望があればペーパーレスや効率化の視点からデジタル化の導入も検討していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ぱぷりかランド（放課後等デイサービス）

公表日 令和 8 年 5 月 25 日

利用児
童数

33 (34)

回収数 33 (97.06%)

		チェック項目	はい	どちら とも いえな い	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環 境 ・ 体 制 整 備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	31	2				スペースを有効活用し、お子様にとってより良い環境設定に努めます
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	30			3	明るくて優しい先生がいつもたくさんいて、親子共々安心しています	安心安全に過ごせるための人員配置及び常に明るく笑顔で対応出来るよう努めます
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	31	1		1		活動の導線を分かりやすく設定します
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	31	2				清掃、環境チェックを継続し、清潔で心地良い環境作りに努めます
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	33				思います。おうちでも学んだ事を活かしてくれたらもっと嬉しいです	「療育、教育、対応力」のプロフェッショナルを目指し、学び続けます
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	32			1	毎回テーマがありとても楽しそうなプログラムを用意していただいています	全職員の意見を反映し、支援プログラムに沿った活動を実施していきます
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	33				いつも細かく聞き取りしてくれてありがたい一言です	お子様一人一人に応じた支援に繋がるよう保護者様のご意向を大切にします
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	32			1	・様々な行事を計画してくださっています ・毎週内容が変わっているように思います ・季節に合わせて活動をいつも楽しみにしています	ガイドラインを軸に、お子様沿った支援計画の立案に努めます
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	32			1		個別観察記録を反映し、次の目標設定に向けたあ支援に努めます
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	32			1		「音楽療育」を基盤に季節や社会情勢にも視野を広げたプログラムを設定します
保 護	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	13	5	1	14	・以前他の子どもとの交流についての説明があったので今後に期待しています ・地域のイベントに連れて行ってくれます	自然＆社会体験活動療育参加の機会を設け、地域の方と交流する機会を設けます
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	33					ご質問に対する丁寧な説明に努めます
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	33					保護者様のご意見を伺い、丁寧な説明に努めます
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	33				・研修会では子どもではなく親に向けての話がありためになります ・昨年度は保護者会に参加出来なかったのが今年は是非お願いします ・勉強会はあるが同じ内容が多いので 固定化されないよう工夫 してもらえるともっと参加したいと思えた	家庭教育に繋がる定期的な家族支援プログラムの実施に努めます
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	32	1			連絡帳さますます	送迎時、連絡帳、面談を通じ保護者様との共通理解に努めます
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	32			1	連絡帳が役立っています	安心してご相談いただける体制を整えます
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	33					全職員、心身の健康を整えお子様に対応いたします

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ぱぶりかランド（放課後等デイサービス）

公表日 令和 8 年 5 月 25 日

利用児
童数

33 (34)

回収数 33 (97.06%)

		チェック項目	はい	どちら とも いえな い	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
者 へ の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	26	2		5	・勉強会を定期的に開催してくださりとてもためになります ・パパ向けの勉強会をやってほしい ・兄弟向けのイベントや交流の機会が設けられているのかわからない ・保護者同士の意見交換の場がもっと増えると嬉しい。保護者も参加出来たり参観する機会がもう少しあると嬉しいです	定期的な家族支援プログラムを計画し、ご家族様との交流がより深められるよう努めます
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	31			2	いつも相談に乗っていただきとても安心している	安心して通所いただけるよう、相談に対し迅速に対応いたします
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	33					より丁寧な対応に努めます
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	32			1	ぱぶりか通信や毎週のラインを楽しみにしています	ホームページ、掲示板、ぱぶりかランド通信、メールとうによる活動法徳を行います
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	32			1		プライベートマーク保持企業として取り扱いに留意します
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	32	1			事故とはどういう事がありうるのか	ご質問に対し、丁寧に説明いたします
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	33				子どもお陰様で安全への意識が高いように感じます	定期的な避難、引き渡し訓練の実施により共通理解に努めます
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	32			1		より丁寧な対応に努めます
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	30	1		2		事故が起きた際、丁寧な説明、対応に努めます
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	31	1	1		・とても安心して通所している ・安心してすぎてたまにイヤイヤ期が出ます ・部屋に閉じこもっているのが嫌	保護者様、お子様との出会いに感謝します。「お子様の出口は就労」と捉えプロフェッショナルな療育、教育に全力で取り組みます
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	30	2	1		・学校よりぱぶりかに行きたいと言っています ・いつも楽しく通所し笑顔で帰ってきます ・帰って来る時の笑顔が毎回嬉しい ・平日は他所を利用し疲れもありそうですが土曜日のぱぶりかを楽しみに毎回通所しています。子どもの興味に合わせて話を広げてくださったり共感してくださる事で居心地良く過ごす事が出来ているようです ・つまらない、疲れている	

(別紙4)

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ぱぷりかランド（放課後等デイサービス）
------	---------------------

公表日 令和 8 年 5 月 25 日

利用児童数 33 (34) 回収数 33 (97.06%)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
29		事業所の支援に満足していますか。	30	2	1		・とても満足しています ・いつもありがとうございます ・先生の優しさや肯定してくれる事で子どもの心が安定している ・年齢が上がると時間が短くなるのが気になる ・学校が6時間だから何も面白くない	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ぱぷりかランド（放課後等デイサービス）		公表日		令和 8 年 5 月 25 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		活動に応じたスペースを机、椅子、パーティションを活用し確保している	スペースを有効活用出来るよう活動に応じた配置を行う	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5		現時点では適切だと思うが、今後職員4人体制で行う事は不安を感じる。マンツーマンでつく子どもがいったりモニタリングなどで職員が対応する日は適切な指導員の数を確保すべきだと思う	法令に準じた人数以上の職員を配置している	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	・主体的に行動出来るよう導線に配慮している ・入口の玄関の段差がある	お子様に分かりやすい構造化、危険な箇所がないよう日々の点検を行う	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		活動前後に清掃、環境チェックを行っている	日々の清掃、環境チェックを継続し、清潔で心地良く過ごせる環境作りに努める	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		パーティションを有効活用している	パーティションを有効活用する	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		日々のミーティング、支援会議を実施し共有している	ミーティング、支援会議記録を活用し、情報を共有する	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		全職員が目を通し改善策を挙げ実施に努めている	保護者様の意見を共有し、改善策を挙げ実施に努める	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		風通しの良い職場環境が実現出来ている	一人一人の職員の意見を重要視し、業務改善に繋げる	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	今後検討し、業務改善に繋げたい	外部評価を受ける機会を検討する	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・月1回社長研修を実施し、教育理念の基資質の向上に繋がっている ・随時外部研修参加の機会を得ている	内部研修、外部研修他日々の学びの機会を持ち、資質の向上に繋げる	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		全職員の意見を取り入れて作成、公表している	支援プログラムの作成、公表、実施に努める	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		対面のアセスメントを行い、就労を見据えた計画を作成し、評価を行っている	アセスメントの内容を踏まえお子様に応じたニーズや課題に沿った計画の作成に努める	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		個別観察記録、振り返りシート、個別支援計画、モニタリング面談表を共有し、すぐに確認出来るよう管理している	支援に関わる職員が参加し日々の観察記録を基に最善の利益を考慮した計画の作成に繋げる	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		日々使用するファイルに綴じ、確認し支援にあたっている	全職員で共有する	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		個別観察記録を活用している	個別観察記録を活用する	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		アセスメントに基づいた支援内容の立案に努めている	ガイドラインに基づいた支援内容の立案に努める	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		支援プログラム会議を実施している	職員で意見を出し合い、支援に活かすチーム力がある	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		季節や社会情勢にも視野を広げ、毎週異なる支援プログラムを実施している	音楽療育をベースに季節や社会情勢にも視野を広げたプログラムを設定する	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		アセスメントに基づき計画、支援している	お子様の状況に応じ個別活動と集団活動を適宜組み合わせている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		毎回行っている	全職員の共通理解を深める	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ぱぷりかランド（放課後等デイサービス）		公表日		令和 8 年 5 月 25 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		毎回行い、ミーティングノートで共有している	毎回ミーティングを行い記録し共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		支援内容を記録し、改善に繋げている	全て記録し改善共有に努める	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		対面で行い評価、見直しをしている	対面で行い評価、見直しをする	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		「自立支援」「創作活動」「地域交流」「余暇」を基本に個別に支援を行っている	日々の活動、自然＆社会体験活動への参加の機会を設け、主体的に活動出来るプログラムを立案する	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		主体性を大切に選択の機会を設け、自己決定の力を育んでいる	お子様の意思決定を尊重出来る環境、対応に努める	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1	常に体制を整えている	保護者様のご意向に応じて対応出来る体制を整える	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		常に体制を整えている	保護者様を通じて共有する	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		緊急時に行う送迎の際に情報共有を行っている	必要に応じて学校訪問を行う体制を整える	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	主に家族を通じて行っている	保護者様の考えの下、柔軟に対応している	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2	常に体制を整えている	卒業後フォローの機会を設けている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3	機会を設けたい	連携の機会を検討する	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2	自然＆社会体験活動療育を通した地域交流がなされている	体験活動を通し交流の機会を設けていく	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3	今後参加していきたい	保護者様の送迎時、連絡帳、面談を通し共通理解を深める	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		面談や連絡帳を送迎時に共有させていただいている	家庭教育に向けた家族支援に努める	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		月2回ペアレントトレーニングを開催している	質問に対しすぐに対応出来る体制を整える	
保護者	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		質問に対しすぐに対応している	お子様の成長を全ての判断基準とする	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		対面で面談を実施し、お子様の成長を全ての判断基準としている	丁寧な説明に努める	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		そのようにしている	適宜相談出来る環境を整える	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		モニタリング、面談他個別面談、送迎時、連絡帳を通じ実施に努めている	適宜相談出来る環境を整える	

(別紙5)

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ぱぷりかランド（放課後等デイサービス）		公表日		令和 8 年 5 月 25 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
君への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5		季節のイベントや今後行われる音楽感謝祭にて参加の機会を設けている	定期的な家族支援プログラムを計画し、ご家族様同士の交流がより深められるよう努める	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		そのようにしている	ご意見を真摯に受け止めて迅速に対応する	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		毎月の通信を作成し発信している	通信の発行、掲示板を活用する	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		そのようにしている	プライバシーマーク保持企業である	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		ご家庭に応じた支援に努めている	適宜相談出来る環境を整える	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	音楽感謝祭を計画している	音楽療育をベースにしたイベントを計画している	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		マニュアルを作成し保管、必要な訓練を行っている	常にブラッシュアップを心掛ける	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		策定し研修、訓練の実施に努めている	常にブラッシュアップを心掛ける	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		お子様に応じた対応を行っている	職員共通認識を持っている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		お子様に応じた対応を行っている	お子様に応じた個別対応を行う	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		作成し研修、訓練を実施し、安全管理に努めている	研修、訓練の実施により更なる安全管理に努める	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		引き渡しカードの作成、避難所マップをお渡ししている	定期的な避難訓練、引き渡し訓練により共通理解を深める	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		毎月末に集計、対応策を講じ共有している	集計、改善策を講じ環境作りに努める	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		研修を実施し、適切な環境作りに努めている	チェックリスト活用しより良い環境作りに努める	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		お子様に応じた対応を行っている	お子様に応じた個別対応を行う		